

科目名		理学療法技術論Ⅳ（小児期疾患）			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	15回	時間数	30時間	（1単位）	配当学年・時期	理学療法士科3年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
脳性まひを中心に小児理学療法について理解する。									
〔授業全体の内容の概要〕									
講義形式が中心ですが、ビデオ等により臨床像をイメージしたり、確認したりしたいと考えています。 場合によっては実技やグループでの討論を行ないたいと思います。									
〔講師の実務経験〕									
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕									
脳性まひ児の理学療法を通して小児理学療法の考え方を理解する。 脳性まひの各タイプの特徴を理解する。									
回数	講義内容								
1	小児理学療法全般についての概論								
2	脳性まひ児に対するPT場面の紹介								
3	脳性まひについて								
4	脳性まひについて								
5	脳性まひの症状								
6	脳性まひの症状								
7	脳性まひの症状								
8	脳性まひの症状								
9	理学療法アプローチの考え方								
10	評価と理学療法アプローチ								
11	評価と理学療法アプローチ								
12	評価と理学療法アプローチ								
13	評価と理学療法アプローチ								
14	小児理学療法実技								
15	小児理学療法（まとめ）								
	定期筆記試験								

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
小児理学療法学テキスト 第3版	細田多穂	南江堂

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

筆記試験により評価します。
